生成 AI 研修の費用相場と助成金の実質負担

公開料金 16 社と人材開発支援助成金（2026 年度版）

AI 担当くん AI リサーチ Skill　Output: 2026-09-30

本レポートは生成 AI による調査出力です。重要な情報は出典で確認してください。

依頼内容（再掲）

【Issue】
社員向けの生成 AI 研修は、研修会社によって 1 人数千円の e ラーニングから 1 社数百万円の講師派遣まで価格の幅が大きい。一方で人材開発支援助成金を使えば経費の最大 75%が戻るが、2026 年 8 月 3 日の支給要領改正で汎用的なプロンプト研修は対象外となり、現行の助成率が省令で定められているのは 2027 年 3 月 31 日までである。従業員 100〜1,000 人規模の企業にとって、研修の実質負担はいくらで、いつまでに何を決めれば助成金を使えるのか。

【So What（意思決定軸）】
本調査の結果は、従業員 100〜1,000 人規模の企業の経営者と人事責任者が、2026 年度内に生成 AI 研修を実施するか、実施するならどの形式と価格帯を選び、どの助成金コースで申請するかを判断するために用いる。

【調査対象期間】
料金は 2026 年 9 月 30 日時点の各社公開情報。制度は令和 8 年度（2026 年 4 月〜2027 年 3 月）の支給要領とパンフレット、および令和 9 年度予算概算要求の概要。

【情報ソース】
料金は研修提供会社自身の公開ページのみ（比較まとめ記事の料金は使わない）。制度は厚生労働省の支給要領・パンフレット・リーフレット、雇用保険法施行規則（e-Gov）、令和 9 年度厚生労働省予算概算要求の概要のみ。手元の材料ファイル（料金の照合済み表と出典台帳）を正本とし、材料に無い数字は使わない。

【調査スコープ】
第一に、公開料金を形式（講師派遣、オンラインライブ、e ラーニング、定額制）と単位（1 人、1 回、1 社、月額）で分類し、形式ごとの価格帯を整理する。料金非公開の会社の割合も示す。第二に、助成金の 3 コース（事業展開等リスキリング支援、人材育成支援、人への投資促進の定額制訓練）の助成率・上限・条件を比較する。第三に、第一の価格帯ごとに、各コースを使った場合の実質負担を同じ前提（中小企業、5 人、12 時間など）で試算する。第四に、2026 年 8 月 3 日改正で対象外になった研修の型と、その場合に全額自己負担となる費用を示す。第五に、制度の期限（2027 年 3 月 31 日）と計画届の締切（研修開始日の 1 か月前）から逆算した意思決定の日程を示す。第六に、以上を踏まえ、企業規模と目的別に研修の選び方を 3 案以上示し、前提条件とリスクを併記する。

【アウトプット要件】
詳細レポートのみ。形式別価格帯の表、3 コースの比較表、価格帯×コースの実質負担の試算表、改正前後の対象・対象外の表、逆算の日程表、選び方 3 案の比較表を必ず含むこと。最終章は「実施判断支援」として、今年度内に実施すべきかの Go/No-Go、判断の前提、初動 3 か月のアクション、主要論点 3 つで締めくくる。

【引用・数値ルール】
各引用には発表・更新年月を必須記載し、取得できない場合はアクセス日を明記するこ

と。同一の事実（助成率、上限額、期限）は全章で同じ数値を用いること。試算は「試算」と明記し前提を示すこと。来年度の制度の扱いは確認できた資料の範囲だけを書き、推測で「廃止される」「延長される」と書かないこと。特定の研修会社を推奨しないこと。

目次

0. エグゼクティブサマリー
    0.1 本レポートの読み方
1. 公開料金の相場（形式と単位で分類）
    1.1 取得の範囲
    1.2 形式別の公開料金
    1.3 形式ごとの価格帯
    1.4 要諦
2. 助成金 3 コースの比較
    2.1 3 コースの助成率・上限・条件
    2.2 中小企業の範囲
    2.3 令和 8 年 4 月 8 日の改正
    2.4 要諦
3. 価格帯とコース別の実質負担（試算）
    3.1 試算の前提
    3.2 価格帯別の実質負担（中小企業・リスキリング支援コース）
    3.3 5 人が受講した場合の総額（試算）
    3.4 上限に当たる価格帯
    3.5 会社ページの「助成金適用後」表示との対照
    3.6 同じ研修を別コース・大企業で申請した場合
    3.7 賃金助成の見方
    3.8 要諦
4. 令和 8 年 8 月 3 日改正と対象外になる研修
    4.1 改正の内容
    4.2 経過措置と他コースの扱い
    4.3 対象外になった場合の費用（試算）
    4.4 要諦
5. 制度の期限と計画届の日程（逆算）
    5.1 制度の期限と来年度の扱い
    5.2 計画届の日程
    5.3 逆算の日程
    5.4 要諦
6. 企業規模と目的別の研修の選び方
    6.1 選び方 3 案の比較

6.2 企業規模ごとの見方
6.3 要諦
7. 実施判断支援
7.1 Go/No-Go 判断
7.2 判断の前提
7.3 初動 3 か月のアクション
7.4 主要論点 3 つ
7.5 監視すべきリスク要因
7.6 要諦

本レポートは AI 担当くん の AI リサーチ Skill（https://ai-tantou.sun-spark.jp/research-skill）で作成しました。料金は 2026 年 9 月 30 日時点の各社公開情報です。

0. エグゼクティブサマリー

本レポートは、従業員 100〜1,000 人規模の企業の経営者と人事責任者が、2026 年度内に生成 AI 研修を実施するかどうか、実施するなら形式・価格帯・助成金コースをどう選ぶかを判断するための材料である。料金は研修会社自身の公開ページを 2026 年 9 月 30 日に取得した内容、制度は令和 8 年度（2026 年度）の厚生労働省の資料と e-Gov 法令、令和 9 年度予算概算要求の概要に限っている。

結論から言うと、研修の実質負担は「料金」よりも三つの関門で決まる。本レポートはこれを〈三つの関門〉と呼ぶ。第一は対象の関門で、令和 8 年（2026 年）8 月 3 日の支給要領改正により、事業展開等リスキリング支援コースでは汎用的なプロンプト研修が対象外の例に挙げられた[0-2]。第二は上限の関門で、経費助成は 1 人 1 訓練 10〜100 時間で中小企業 30 万円、e ラーニングは中小企業 15 万円が上限であり、それを超える料金は助成率どおりには戻らない[0-1]。第三は期限の関門で、リスキリング支援コースの助成金は雇用保険法施行規則の附則で令和 9 年（2027 年）3 月 31 日までと定められている[0-3]。

公開料金が数字で確認できた研修会社は 16 社で、1 人あたりのライブ研修は 10 時間の 55,000 円（税込）から 30 時間の 1,200,000 円（税込）まで、1 社定額は 1 社 1,100,000 円（税込）である[0-6]。同じ前提（中小企業・リスキリング支援コース・所定労働時間内・1 人）で試算すると、実質負担は 3,750 円から 870,000 円まで開く。また、同じ 330,000 円（税込）の研修でも、業務に直結する内容なら試算で 70,500 円、汎用的な内容で対象外になれば全額の 330,000 円となる[0-5]。

令和 9 年度予算概算要求の概要には人材開発支援助成金の名称が載っているが、リスキリング支援コースが同じ条件で続くかどうかは、確認できた資料からは分からない[0-4]。このため、実施判断は「今年度内に三つの関門を通せるか」で行うのが現実的である。年度内に終えるには研修会社とカリキュラムを 10〜11 月に決め、計画届を 12 月から翌年 1 月に出す日程になる。

0.1 本レポートの読み方

料金の事実だけを載せ、特定の研修会社の推奨・順位づけ・品質評価は行わない。試算はすべて「試算」であり、支給を保証するものではない。試算に使った計算式は数値台帳（facts_ledger.json）に残してある。

1. 公開料金の相場（形式と単位で分類）

公開料金は同じ「1 人あたり」でも時間・最低人数・伴走の有無がそろっておらず、金額だけの比較は誤読を生む。

1.1 取得の範囲

料金の数字を確認できたのは 16 社 34 行である。比較まとめ記事の料金は使わず、提供会社自身のページ（一部は提供会社自身のプレスリリース）だけを採用した。取得を試

みた会社の内訳は次の表のとおりである（今回取得を試みた 35 社の内訳であり、市場全体の割合ではない）。

区分	会社数	割合（35 社中）
公開ページに料金の数字を確認できた	16 社	約 46%
公開ページに研修本体の料金の数字が無かった	10 社	約 29%
取得不可・対象外	9 社	約 26%

割合は 16÷35、10÷35、9÷35 の計算値で、小数点以下を丸めている。金額が無かった 10 社は、ウズカレ Biz[1-19]、DMM 生成 AI CAMP[1-20]、キカガク[1-21]、トレノケート[1-22]、アドカル[1-23]、WEEL[1-24]、ブレインパッド[1-25]、アガルート[1-26]、Algox[1-27]、ビルド AI[1-28]である。ウズカレ Biz は料金が資料請求の先にあり、アドカルは比較記事に載る金額が提供会社ページで確認できなかったため採用していない。スキルアップ AI も研修本体の料金は非掲載で、講師派遣料だけが確認できた[1-14][1-18]。

取得不可・対象外の 9 社は、Schoo for Business[1-29]、Aidemy Business[1-30]、SIGNATE Cloud[1-31]、Web Camp Business[1-32]、日立アカデミー、富士通ラーニングメディア、NEC、インターネット・アカデミー、TechAcademy[1-33]である。Schoo・Aidemy・SIGNATE Cloud はページの本文が JS 描画で料金が取得できず、Web Camp は接続できなかった。日立アカデミー・富士通ラーニングメディア・NEC・インターネット・アカデミーは、生成 AI 研修の料金ページに到達できなかった。TechAcademy のページの金額は、原文で UI/UX デザイン研修と Web デザイン研修の料金と明記されており、生成 AI 研修の料金ではない。

1.2 形式別の公開料金

形式は、講師派遣・ライブ研修（1 人単位）、1 社または 1 時間単位の定額、e ラーニングと年額の定額制、公開講座の 4 つに分けた。料金は原文の税表記のままである。

会社	研修と条件	料金（原文表記）
日本 AI 導入支援協会[1-1]	初学者向けコース・オンラインライブ・10 時間・1 社 10 名以上（55 万円から）	55,000 円（税込・1 名）
AI 研修 CIRAS[1-2]	生成 AI 職務活用基礎研修 12 時間／業務設計・標準化実践研修 18 時間／AI 推進実務・品質管理研修 24 時間（開講準備中と明記）	148,500 円／220,000 円／330,000 円（税込・1 名）
クラウドワークス アカデミー[1-3]	訪問型・計 10 時間（対面 3 時間×2＋オンライン 4 時間）	176,000 円（税込・1 名）

.Pro（ドットプロ）[1-4]	オンラインライブ・12 時間・1 名から	330,000 円（税込・1 人）
Uravation[1-5]	標準プラン・標準 12 時間（6 時間ライト版あり）・実施形式は個別見積り	40 万円（税別・1 名）
Uravation[1-6]	Claude Code 法人研修・2 日間 12 時間前後・3〜20 名／回	400,000 円（税別・1 名）
ネクストスケール[1-7]	対面中心のリアルタイム研修・生成 AI 活用研修は期間 6 か月・合計 11 時間	40 万円（税込・1 名）
SHIFT AI[1-8]	e ラーニング 10 時間＋オンライン研修 6 時間（合計 16 時間以上）／エンジニア向けは合計 14.5 時間以上	300,000 円（税抜・1 名）
GENAI（AI 鬼管理）[1-9]	業務変革パッケージ 20 時間／組織実装パッケージ 30 時間・最低 3 名・セット受講必須	80 万円／120 万円（税込・1 名）
GiftX[1-16]	実践型研修（AI 活用）・時間・単位・税区分の記載なし	200,000 円〜（税区分の記載なし）
スキルアップ AI[1-14]	AI 道場の対面での相談会・発表会実施時の講師派遣料のみ確認（研修本体は非掲載）	1 日程 5 万円（東京 23 区・大阪市）／10 万円（それ以外）

1 社定額と時間単価の会社は次のとおりである。

会社	研修と条件	料金（原文表記）
ホリエモン AI 学校[1-15]	2 日 Camp Claude Code 編・オンライン貸切・16 時間・20 名程度までを推奨	1 社 100 万円（税込 110 万円）
ユースフル[1-11]	集合研修・完全時間単価制・人数によらない	1 時間 30 万円（税別）

e ラーニングと年額の定額制、公開講座は次のとおりである。

会社	研修と条件	料金（原文表記）
ユースフル[1-11]	e ラーニング 27 コース・年間契約・初期導入費用が別	月額 350 円／ID〜（税別）

	途	
Udemy Business[1-13]	Team Plan・米国ページ・2〜50 人・見放題	1 ユーザー年 360 ドル
AVILEN[1-12]	生成 AI 業務プロセス適用研修（全コース）e ラーニング	66,000 円（税込・1 名）から
AI Academy Business[1-10]	生成 AI 基礎コース 動画プラン／実践コース 動画プラン／動画＋質問プラン／個別指導プラン	19,800 円／34,800 円／104,800 円／600,000 円（税抜・1 名）
インソース[1-17]	公開講座・会員価格。半日研修 24,400〜37,700 円、1〜2 日相当のコース 36,600〜48,800 円、セットプラン 62,100〜183,600 円、秋の 2 日間速習キャンペーン 29,800 円	24,400 円〜183,600 円（会員価格）

1.3 形式ごとの価格帯

数字が確認できた範囲は、形式と単位ごとに整理すると次のとおりである。時間あたりの単価は、公開料金を研修時間で割った試算値である。

形式	単位	公開料金の範囲	備考
講師派遣・ライブ研修	1 人あたり	55,000 円（10 時間）〜1,200,000 円（30 時間）	税込・税別が混在。最低人数の条件がある会社あり
同上（時間あたりの試算）	1 人 1 時間	5,500 円〜40,000 円	日本 AI 導入支援協会 55,000÷10＝5,500 円、GENAI 800,000÷20＝40,000 円（1,200,000÷30 も 40,000 円）
定額（1 社）	1 社あたり	1,100,000 円（税込・16 時間）	ホリエモン AI 学校。1,100,000÷16＝68,750 円／時間（1 社あたり。人数で割る前）
定額（時間）	1 時間あたり	300,000 円（税別）	ユースフル。人数によらない
e ラーニング・年額	1 人あたり	月額 350 円／	ユースフルは

		ID〜、年 360 ドル、19,800 円〜104,800 円	350×12＝4,200 円／年に相当（年間契約・初期費用別途）
公開講座	1 人あたり	24,400 円〜183,600 円	会員価格。半日〜5 日間のセットプラン

料金を時間で割ると、ライブ研修の 1 人 1 時間あたりは 5,500 円から 40,000 円まで約 7 倍の開きがある。同じ 12 時間の研修でも、CIRAS の 148,500 円[1-2]と.Pro の 330,000 円[1-4]と Uravation の 40 万円（税別）[1-5]は、伴走や実習の有無などの条件が公開ページだけでは同じとは言えない。

1.4 要諦

1. 料金を数字で確認できたのは、取得を試みた 35 社のうち 16 社で、約 46%にとどまる。

2. ライブ研修の 1 人あたり料金は 55,000 円から 1,200,000 円で、1 人 1 時間あたりに直すと 5,500 円から 40,000 円である。

3. 1 社定額は人数が増えるほど 1 人あたりが下がるため、人数を置いて比べる必要がある。

4. e ラーニングと公開講座は、条件に注意すれば 1 人数千円から十数万円の範囲に収まる。

5. 比較の前に、単位（1 人・1 社・1 時間）、税表記、時間、最低人数をそろえる。

2. 助成金 3 コースの比較

同じ研修でも、どのコースで申請するかで助成率と上限が変わる。

2.1 3 コースの助成率・上限・条件

人材開発支援助成金[2-1]のうち、生成 AI 研修で検討対象になる 3 コースについて、令和 8 年度版（8 月 3 日版）の資料で比較する。

項目	事業展開等リスキリング支援コース[2-2][2-3]	人材育成支援コース（人材育成訓練）[2-4][2-8]	人への投資促進コース（定額制訓練）[2-5][2-9]
経費助成率（中小企業／大企業）	75%／60%	45%／30%（賃金要件等で 60%／45%）	60%／45%（賃金要件等で 75%／60%）
賃金助成（1 人 1 時間、中小企業／大企業）	1,000 円／500 円（e ラーニング・通信制・定額制は経費助成のみ）	800 円／400 円（要件で 1,000 円／500 円）	本レポートの材料では確認していない

経費助成の上限（1 人 1 訓練）	10〜100 時間 中小 30 万円・大 20 万円、100〜200 時間 40 万円・25 万円、200 時間以上 50 万円・30 万円。e ラーニング・通信制は中小 15 万円・大 10 万円	10〜100 時間 中小 15 万円・大 10 万円、100〜200 時間 30 万円・20 万円、200 時間以上 50 万円・30 万円	1 人 1 月 2 万円
受講回数・事業所の上限	1 労働者 1 年度 3 回（うち 8 月 3 日以降の計画届による e ラーニングは 1 回）、1 事業所 1 年度 1 億円	1 労働者 1 年度 3 回、1 事業所 1 年度 1,000 万円	1 事業所 1 年度 2,500 万円（成長分野等を除く）
主な条件	10 時間以上の訓練。職務に直接関連する内容。事業展開・DX/GX 化に関連する業務などが対象	10 時間以上の OFF-JT	10 時間以上を修了した者が支給対象労働者（令和 8 年 4 月 8 日改正）
期限	雇用保険法施行規則 附則第 35 条で令和 9 年 3 月 31 日まで[2-7]	同規則第 125 条に規定。附則第 34 条・第 35 条の期限規定の対象ではない	附則第 34 条で令和 9 年 3 月 31 日まで[2-7]

三つの助成の共通事項として、計画届を提出したことで助成金が確実に支給されるわけではなく、審査は支給申請後に一括して行われる[2-2]。消費税は対象経費に含まれる。

2.2 中小企業の範囲

従業員 100〜1,000 人規模の企業は、業種と資本金・従業員数によって中小企業にも大企業にも分かれる。人材育成支援コースのパンフレットでは、中小企業の範囲は、小売業は資本金 5,000 万円以下または 50 人以下、サービス業は 5,000 万円以下または 100 人以下、卸売業は 1 億円以下または 100 人以下、製造業その他は 3 億円以下または 300 人以下としている[2-4]。この範囲を超える企業は大企業の助成率（リスキリング支援コースで 60%）になる。

2.3 令和 8 年 4 月 8 日の改正

令和 8 年 4 月 8 日の改正で、リスキリング支援コースの e ラーニング・通信制の 1 人 1 訓練の経費上限は、中小企業が 30 万円から 15 万円、大企業が 20 万円から 10 万円に下がった[2-6]。あわせて、定額制は支給対象労働者が「修了した標準学習時間 10 時間以

上の者」に変更された[2-6]。全コースで、申請事業主と密接な関係にある者との間の訓練経費は対象外である[2-6]。

2.4 要諦

1. 助成率が最も高いのは中小企業のリスキリング支援コース（経費 75%）で、賃金助成も 1 人 1 時間 1,000 円ある。

2. 上限は訓練時間と e ラーニングかどうかで決まり、1 人あたりの料金が上限を超えると助成率は実効的に下がる。

3. 3 コースのうち、附則で令和 9 年 3 月 31 日までと定められているのはリスキリング支援コースと人への投資促進コースである。

4. 企業が中小企業に当たるかは業種・資本金・従業員数で決まるため、助成率を見積もる前に確認する。

3. 価格帯とコース別の実質負担（試算）

料金が高くなるほど、経費助成が上限に当たり、実質負担は助成率どおりには減らない。

3.1 試算の前提

以下は試算であり、支給を保証するものではない。前提は次のとおりである[3-1][3-2]。

1. 中小企業で、事業展開等リスキリング支援コースについて、所定労働時間内の受講で 1 人あたりを計算する。

2. 経費助成は「税込料金×75%」で、上限は 1 人 1 訓練が 10〜100 時間で 30 万円、e ラーニングは 15 万円とする。

3. 賃金助成は「1 時間 1,000 円×研修時間」で、e ラーニングには無い。

4. 差し引きの負担は「料金－経費助成－賃金助成」である。

5. Uravation の 40 万円（税別）は、消費税 10%を加えた 440,000 円（税込）として計算する。

6. 10 時間未満の研修は対象外で、助成は 0 円とする。

3.2 価格帯別の実質負担（中小企業・リスキリング支援コース）

研修（料金・時間）	経費助成＋賃金助成（試算）	差し引きの負担（1 人・試算）	料金に占める割合
日本 AI 導入支援協会 55,000 円・10 時間[3-4]	41,250 円＋10,000 円	3,750 円	約 6.8%
CIRAS 148,500 円・12 時間[3-5]	111,375 円＋12,000 円	25,125 円	約 16.9%
.Pro 330,000 円・12	247,500 円＋12,000	70,500 円	約 21.4%

時間[3-6]	円		
Uravation 440,000 円（税別 40 万円）・12 時間[3-7]	300,000 円（上限）＋12,000 円	128,000 円	約 29.1%
ホリエモン AI 学校 1 社 1,100,000 円を 10 人で（1 人 110,000 円）・16 時間[3-8]	82,500 円＋16,000 円	11,500 円	約 10.5%
ホリエモン AI 学校 1 社 1,100,000 円を 5 人で（1 人 220,000 円）・16 時間[3-8]	165,000 円＋16,000 円	39,000 円	約 17.7%
AVILEN e ラーニング 66,000 円（10 時間以上の場合）[3-9]	49,500 円＋0 円	16,500 円	25.0%
インソース 半日研修 24,400 円[3-10]	対象外（10 時間未満）	24,400 円	100%

.Pro の 70,500 円は、同社ページの「助成金適用後 中小企業：70,500 円/人（税込）」と一致する[3-6]。

3.3 5 人が受講した場合の総額（試算）

同じ前提で、5 人が受講した場合の差し引きの負担の合計を並べる。

研修	1 人の差し引き	5 人の差し引き合計（試算）
CIRAS 12 時間	25,125 円	125,625 円
.Pro 12 時間	70,500 円	352,500 円
Uravation 12 時間	128,000 円	640,000 円
ホリエモン AI 学校（1 社定額を 5 人で）	39,000 円	195,000 円
AVILEN e ラーニング	16,500 円	82,500 円
インソース 半日研修（対象外）	24,400 円	122,000 円

日本 AI 導入支援協会は最低催行人数が 10 名のため 5 人では申し込めない。10 名の場合の差し引き合計は 3,750 円×10＝37,500 円（試算）である[3-4]。

3.4 上限に当たる価格帯

経費助成の上限は 1 人 1 訓練 30 万円（10〜100 時間・中小企業）であるため、料金が 40 万円（税込）を超えると、助成率 75%どおりには戻らない。上限に当たる料金の閾値は、300,000÷0.75＝400,000 円である。e ラーニングの上限 15 万円に当たる閾値は、150,000÷0.75＝200,000 円である。

研修（料金・時間）	経費助成（上限適用後・試算）	料金に対する経費助成の割合
Uravation 440,000 円・12 時間[3-7]	300,000 円	約 68.2%
GENAI 業務変革パッケージ 800,000 円・20 時間[3-11]	300,000 円	37.5%
GENAI 組織実装パッケージ 1,200,000 円・30 時間[3-11]	300,000 円	25.0%

GENAI の 2 つの表は、パッケージ全体を 1 つの訓練として申請した場合の試算である。上限は 1 人 1 訓練ごとに適用され、受講は 1 人 1 年度 3 回まで認められるため、プログラムごとに別の訓練として申請すれば上限も訓練ごとに当たる。同社ページの助成金見込額（最大 60 万円／名・最大 90 万円／名）は、2 つ・3 つのプログラムにそれぞれ上限 30 万円を当てた額（300,000×2、300,000×3）と一致する[3-11]。どちらの形で申請できるかは、カリキュラムと計画届の内容による。

3.5 会社ページの「助成金適用後」表示との対照

研修会社のページにある助成金適用後の価格は、税込か、賃金助成を含むか、訓練をいくつに分けるかなど、計算の前提が会社ごとに違う。本レポートの算式で計算し直すと、表示と一致するものも一致しないものもあった。一致した例は次のとおりである。

会社	ページの表示	本レポートの算式による試算
.Pro[3-6]	中小企業 70,500 円/人（税込）	330,000×75%＝247,500 円、賃金助成 1,000×12＝12,000 円 → 70,500 円（一致）

表示どおりに戻るかは、自社の企業規模・コース・研修時間・訓練の分け方で計算し直して確かめる必要がある。

3.6 同じ研修を別コース・大企業で申請した場合

.Pro の 330,000 円・12 時間の研修について、人材育成支援コース（経費 45%・上限 15 万円・賃金 800 円）で申請すると、経費助成は 148,500 円（330,000×45%）、賃金助成は 9,600 円（800×12）で、差し引きは 171,900 円になる[3-3]。大企業がリスキリング支援コース（経費 60%・上限 20 万円・賃金 500 円）で申請すると、経費助成は 198,000 円、賃金助成は 6,000 円で、差し引きは 126,000 円になる[3-1]。

大企業が AVILEN の e ラーニング 66,000 円（10 時間以上の場合）をリスキリング支援コースで申請した場合は、経費助成が 66,000×60%＝39,600 円（上限 10 万円未満）、賃金助成は無く、差し引きは 26,400 円である（試算）。

3.7 賃金助成の見方

賃金助成は、研修中も払う給与の一部を補う性格の助成であり、受講料の値引きではない。会社のページでは受講料から引いて見せる例があるが、給与は別に支払っている。たとえばホリエモン AI 学校の 1 社 1,100,000 円を 20 人で受講する場合、1 人あたりは 55,000 円で、経費助成 41,250 円と賃金助成 16,000 円を引くと、計算上は−2,250 円になる（試算）。差し引きがマイナスになることは、賃金助成を受講料の値引きとして読んではいけないことを示している。

3.8 要諦

1. 中小企業のリスキリング支援コースでは、試算上の実質負担は料金の約 6.8%から約 29.1%（10 時間以上のライブ研修、上限に当たらない価格帯を含む）である。

2. 料金が 40 万円（税込）を超えると経費助成は上限 30 万円に当たり、1,200,000 円の研修では料金の 25.0%しか戻らない。

3. e ラーニングは上限 15 万円・賃金助成なしのため、料金が 20 万円を超える部分は助成されない。

4. 10 時間未満の研修は、料金にかかわらず助成の対象にならない。

5. 会社ページの助成金適用後の価格は前提がそろわないため、自社の条件で計算し直す。

4. 令和 8 年 8 月 3 日改正と対象外になる研修

同じ料金の研修でも、内容が対象の型か対象外の型かで、助成は最大 75%からゼロまで変わる。

4.1 改正の内容

令和 8 年 8 月 3 日の改正で、リスキリング支援コースでは、DX 化・GX 化に関する訓練のうち「職業又は職務に間接的に必要となる知識・技能を習得させる内容のもの」と「職業又は職務の種類を問わず、職業人として共通して必要なるもの」が助成対象外になった[4-1]。改正前の令和 8 年 5 月 14 日版支給要領は、表 1 の 1・2 に「企業内において DX 化や GX 化を進める上で必要となる知識及び技能を習得させるための訓練等である場合は除く」との但し書きを置いていたが、8 月 3 日版ではこの但し書きが削除されている[4-2][4-3]。

厚生労働省のリーフレットは、次の例を示している[4-1]。

型	内容の例	助成
対象の例	生成 AI を活用して商品提案書の構成案作成、文章生成、修正方法を学ぶ営業担	対象

	当者向けの訓練（営業担当者の具体的な業務に直結し、そのまま活用可能）	
対象外の例	生成 AI を利用するために汎用的なプロンプトの作り方を学ぶ訓練（特定の業務への具体的適用を伴わない汎用的内容）	対象外
対象外の例	DX の概念、デジタル技術の概要、データ活用の考え方を学ぶ訓練	対象外
対象・対象外が分かれる例	CO2 算定の訓練は、算定業務の担当者なら対象、人事・営業の者なら対象外	受講者の選定で分かれる

リーフレットの確認ポイントは、特定の職業・職務に必要な知識・技能か、マナー・リテラシー・概念理解にとどまっていないか、訓練内容に沿って対象労働者を選定しているか、の 3 点である[4-1]。

4.2 経過措置と他コースの扱い

8 月 3 日以降の計画届でも、事業外訓練で教育訓練機関との契約締結・申込が令和 8 年 8 月 2 日以前、事業内訓練で経費に係る契約・申込・発注等のいずれかが 8 月 2 日以前であれば、改正前（5 月 14 日版）の表 1 が適用される[4-2]。また、e ラーニング訓練（組み合わせを含む）は、同一労働者につき 1 年度 1 回までとされた（8 月 3 日以降の計画届から算入）[4-1][4-7]。

他コースでは、人への投資促進コースの定額制訓練の表 1 には DX 化・GX 化の例外の但し書きが残っており、人材育成支援コースの表 1 にはこの例外が無い。人材育成支援コースには、「職業人として共通して必要となるもの」が OFF-JT 実訓練時間の半分未満なら対象として扱う特例がある[4-4][4-5]。汎用的なプロンプト研修がこれらのコースで対象になるかは、確認できた資料からは判断できない。

4.3 対象外になった場合の費用（試算）

リスキリング支援コースで対象外になると、経費助成も賃金助成も 0 円となり、料金の全額が自己負担になる。同じ料金で対象の場合との差を試算すると次のとおりである。

研修（料金・時間）	対象の場合の差し引き（1 人・試算）	対象外の場合（1 人）	5 人分の差（試算）
.Pro 330,000 円・12 時間[4-6]	70,500 円	330,000 円	1,297,500 円
Uravation 440,000 円・12 時間	128,000 円	440,000 円	1,560,000 円
CIRAS 148,500 円・	25,125 円	148,500 円	616,875 円

12 時間			

.Pro の 5 人分の差は、対象外の場合の 1,650,000 円（330,000×5）から対象の場合の 352,500 円（70,500×5）を引いた 1,297,500 円である。Uravation は 5 人分で対象外 2,200,000 円、対象の場合 640,000 円で差は 1,560,000 円、CIRAS は 5 人分で対象外 742,500 円、対象の場合 125,625 円で差は 616,875 円である。

このほか、研修会社から返金・キャッシュバック・協賛金など名目を問わず金銭を受け取ると「経費を全て負担」したことにならず対象外になる規定が、支給要領にある[4-5]。受講料が他講座と比べて著しく高額（助成金の有無のみで差額）なものも対象外である[4-2][4-5]。

4.4 要諦

1. 令和 8 年 8 月 3 日以降の計画届では、汎用的なプロンプト研修は対象外の例に挙げられ、DX 例外の但し書きが削除された。

2. 同じ料金の研修でも、業務に直結すれば.Pro の例で料金の約 78.6%（259,500 円）が助成され、汎用的な内容で対象外なら全額自己負担になる（70,500 円か 330,000 円）。

3. カリキュラムの組み方と受講者の選定が、実質負担を数倍変える。

4. 8 月 2 日以前の契約・申込には経過措置があるが、適用は契約の日付で決まる。

5. 他コースの扱いは要領の文言が違い、生成 AI 研修の可否は確認できた資料からは判断できない。

5. 制度の期限と計画届の日程（逆算）

期限の関門は、研修会社とカリキュラムを決める時期を 10〜11 月に前倒しする。

5.1 制度の期限と来年度の扱い

雇用保険法施行規則の附則第 34 条は、令和 4 年 4 月 1 日から令和 9 年 3 月 31 日までの間、人への投資促進コース助成金を支給すると定めている。附則第 35 条は、令和 9 年 3 月 31 日までの間、事業展開等リスキリング支援コース助成金を支給すると定めている[5-1]。

令和 9 年度予算概算要求の概要には、「処遇向上に向けたリ・スキリング支援や生産性向上」の項目（1,859 億円、令和 8 年度は 1,478 億円）の中に「人材開発支援助成金による業界団体等に対する訓練プログラムの開発支援等」が載っている[5-2]。人材開発支援助成金は来年度の要求にも名称が載っているが、経費 75%のリスキリング支援コースが来年度も同じ条件で続くかどうかは、概要からは確認できない。また、令和 9 年 3 月 31 日をまたぐ支給申請の扱いは、パンフレット・支給要領・省令本文に記載がなく、確認できた資料には書かれていない。

5.2 計画届の日程

計画届は、研修開始日の 6 か月前から 1 か月前まで（前月の同日）に労働局へ提出する[5-3]。郵送の場合は労働局への到達日が提出日で、消印有効ではない[5-3]。訓練経費は支給申請日までに支払い終える必要があり、支給申請は訓練終了日の翌日から 2 か月以

内である[5-3]。計画届の前に、職業能力開発推進者の選任と事業内職業能力開発計画の策定・周知が必要である[5-3][5-4]。

研修の開始日	計画届を出せる最も早い日（6 か月前）	計画届の締切（1 か月前）
2026 年 11 月 1 日	2026 年 5 月 1 日	2026 年 10 月 1 日
2026 年 12 月 1 日	2026 年 6 月 1 日	2026 年 11 月 1 日
2027 年 1 月 15 日	2026 年 7 月 15 日	2026 年 12 月 15 日
2027 年 2 月 15 日	2026 年 8 月 15 日	2027 年 1 月 15 日
2027 年 3 月 1 日	2026 年 9 月 1 日	2027 年 2 月 1 日

今日（2026 年 9 月 30 日）の時点では、2026 年 11 月 1 日開始でも締切は翌日の 2026 年 10 月 1 日である。年度内に研修と支給申請を終えるなら、現実的には 12 月から翌年 1 月に計画届を出すことになり、そのためには研修会社とカリキュラムを 10〜11 月に決める必要がある。計画届の日付は、パンフレットの数え方（6 か月前の同日が提出期間の初日）に従って計算した[5-3]。

5.3 逆算の日程

時期	決めること・やること
2026 年 10 月	目的・対象部署・対象者を決める。中小企業に当たるかを確認する。研修会社に見積り・カリキュラム・助成金申請の前提を確認する
2026 年 11 月	研修会社とカリキュラムを決める。職業能力開発推進者を選任し、事業内職業能力開発計画を策定・周知する
2026 年 12 月〜2027 年 1 月	計画届を提出する（開始日が 2027 年 1 月 15 日なら 2026 年 12 月 15 日まで）
研修開始〜終了	訓練を実施する。訓練経費は支給申請までに支払い終える
終了日の翌日から 2 か月以内	支給申請を行う。審査は支給申請後に行われる

5.4 要諦

1. 制度の期限は令和 9 年 3 月 31 日で、来年度の扱いは確認できた資料からは分からない。

2. 計画届の締切は研修開始日の 1 か月前で、開始日が 2027 年 2 月 15 日なら 2027 年 1 月 15 日である。

3. 年度内完結には、研修会社とカリキュラムを 10〜11 月に決める必要がある。

4. 令和 9 年 3 月 31 日をまたぐ支給申請の扱いは、確認できた資料に書かれていない。

6. 企業規模と目的別の研修の選び方

目的が違えば、向く形式と助成金の効き方が変わる。三つの関門に照らすと、選び方は次の 3 案に整理できる。

6.1 選び方 3 案の比較

案	全社の底上げ（案 A）	部署ごとの業務に使う（案 B）	少人数で深く・推進役を育てる（案 C）
向く形式	e ラーニング・定額制・公開講座	業務に合わせたライブ研修（10 時間以上）	長時間のパッケージ・個別指導
公開料金の目安	月額 350 円／ID〜、66,000 円〜、19,800 円〜104,800 円[6-4][6-5][6-6][6-7][6-8]	148,500 円〜440,000 円（税込換算）[6-10][6-11][6-12]	800,000 円〜1,200,000 円（GENAI）[6-13]。AI Academy の個別指導プランは 600,000 円（税抜・時間の記載なし）[6-6]
助成金の当てはめ（試算）	上限 15 万円・賃金助成なし・1 人 1 年度 1 回。AVILEN 66,000 円で差し引き 16,500 円	差し引き 25,125 円〜128,000 円（中小企業・リスキリング支援コース）	上限 30 万円に当たり、GENAI の 2 パッケージで差し引き 480,000 円〜870,000 円
前提条件	10 時間以上（標準学習時間）。教育訓練機関が計画届の提出日時点で自社 HP に訓練情報を掲載していること[6-15]	内容が受講者の職務に直結。所定労働時間内[6-14]	訓練を分けるか、人数・単価を研修会社と設計
リスク	汎用的な内容は対象外。1 人 1 年度 1 回の制限	業務直結とみなされない内容は全額自己負担	上限に当たり、料金が高いほど助成率どおりに戻らない

案 A は全社員の底上げに向く。e ラーニングは中小企業で経費助成の上限が 15 万円のため、公開料金の範囲（19,800 円〜104,800 円、AVILEN 66,000 円〜）は上限内に収まる[6-2][6-5][6-6]。ただし、e ラーニング等のうち「特定の事業主に対して提供することを

目的としたもの」は対象外である[6-15]。案 B は部署ごとに業務へ落とし込む形で、ライブ研修の 1 人あたり 148,500 円〜440,000 円のうち、40 万円（税込）を超える分は経費助成が 30 万円で止まる。案 C は推進役や少人数を深く育てる形で、公開料金が上限に当たる価格帯になる。

6.2 企業規模ごとの見方

従業員 100〜1,000 人規模の企業は、業種と資本金・従業員数で中小企業か大企業かが分かれる[6-3]。大企業に当たる場合は、リスキリング支援コースの経費助成が 60%、賃金助成が 1 人 1 時間 500 円、経費上限が 10〜100 時間で 20 万円（e ラーニングは 10 万円）になり、同じ.Pro の研修で差し引きが 126,000 円と、中小企業の 70,500 円より 55,500 円増える（試算・126,000－70,500）[6-10][6-1]。

1 社定額の研修は、人数で 1 人あたりの負担が大きく変わる。ホリエモン AI 学校の 1 社 1,100,000 円は、10 人なら 1 人 11,500 円（試算）、5 人なら 1 人 39,000 円（試算）である[6-9]。

6.3 要諦

1. 全社の底上げ、部署の業務適用、少人数の深掘りで、向く形式と助成の効き方が違う。

2. 業務直結のライブ研修は、試算で差し引きが料金の約 16.9%から約 29.1%である。

3. 上限に当たる価格帯の研修は、訓練の分け方や人数を含めた設計で実質負担が変わる。

4. 大企業に当たる場合は助成率が 60%になり、同じ研修の差し引きが増える。

7. 実施判断支援

生成 AI 研修を今年度内に実施するかどうかは、〈三つの関門〉（対象・上限・期限）を通せるかで判断する。

7.1 Go/No-Go 判断

助成金を使う前提で、2026 年度内に実施するかどうかの判断は、状況別に整理すると次のとおりである。

状況	判断	理由
内容が受講者の職務に直結し、10 時間以上で、開始日が 2027 年 2 月 15 日以前	Go（条件付き）	対象の関門・期限の関門を通せる。計画届の締切は開始日の 1 か月前[7-1][7-2]
汎用的な入門・プロンプト研修が中心	助成金前提では No-Go	令和 8 年 8 月 3 日以降の計画届では対象外の例に当たる。全額自己負担になる[7-2][7-6]
10 時間未満の研修	助成金前提では No-Go	10 時間以上が条件で、助

		成の対象外[7-1]
全社員の e ラーニング	Go（条件付き）	上限 15 万円・賃金助成なし・1 人 1 年度 1 回。10 時間以上の標準学習時間が条件[7-1][7-5]
料金が 40 万円（税込）を超える研修	設計次第	経費助成が 30 万円で止まる。訓練の分け方・人数を研修会社と設計する[7-1]
研修開始が 2027 年 3 月 1 日以降になる	助成金前提では要確認	計画届の締切は 2027 年 2 月 1 日。令和 9 年 3 月 31 日をまたぐ支給申請の扱いは確認できた資料に書かれていない[7-3]

7.2 判断の前提

1. 助成率・上限は令和 8 年度版（8 月 3 日版）で、リスキリング支援コースの支給は令和 9 年 3 月 31 日までと附則に定められている[7-1][7-3]。

2. 令和 9 年度の扱いは、概算要求の概要に人材開発支援助成金の名称が載っているが、リスキリング支援コースが同じ条件で続くかは確認できない[7-4]。廃止・延長のどちらも前提にしない。

3. 試算は中小企業・所定労働時間内・1 人を前提にしている。大企業は助成率が 60%になる。

4. 計画届が受理されても、助成金が確実に支給されるわけではない。審査は支給申請後に行われる[7-1]。

5. 個別の可否は管轄の労働局に確認する。助成金の申請代行は社会保険労務士の業務である。

7.3 初動 3 か月のアクション

時期	アクション
2026 年 10 月	対象部署・対象者・目的を決める。資本金・従業員数で中小企業に当たるかを確認する。研修会社 2〜3 社に、見積り・カリキュラム・受講料の価格設定に関する疎明書の対応を依頼する[7-7]
2026 年 11 月	研修会社を決め、カリキュラムを受講者の職務に直結する形に組む。職業能力開発推進者を選任し、事業内職業能力開発計画を策定・周知する。返金・キャッシュバック・協賛金が無いことを研修会

	社と確認する
2026 年 12 月	計画届を提出する（郵送は到達日が提出日）。開始日が 2027 年 1 月 15 日なら 2026 年 12 月 15 日が締切。管轄の労働局に事前に相談する

7.4 主要論点 3 つ

論点 1 は、内容を業務に直結する形に組めるか、である（対象の関門）。推奨は、部署別・業務別にカリキュラムを組み、受講者を訓練内容に沿って選ぶことである。根拠は、同じ 330,000 円の研修でも、業務に直結すれば試算で 70,500 円、汎用的な内容で対象外なら 330,000 円と、1 人あたり 259,500 円（330,000－70,500）開くからである[7-6][7-2]。

論点 2 は、上限に当たる価格帯を選ぶか、である（上限の関門）。推奨は、1 人 40 万円（税込）を超える研修は、助成率 75%を前提にせず、訓練を分ける設計や人数を研修会社と相談してから決めることである。根拠は、経費助成が 1 人 1 訓練 30 万円で止まり、1,200,000 円の研修では料金の 25.0%しか戻らないからである[7-1]。

論点 3 は、期限の関門を前提に、今年度内に完結させるか来年度の制度を待つか、である。推奨は、今年度内に計画届の締切（2027 年 2 月 15 日開始なら 2027 年 1 月 15 日）まで間に合う範囲だけを助成金前提で組むことである。来年度の扱いは確認できた資料からは分からないため、待つ判断には根拠が無い[7-3][7-4]。来年度分の研修は、助成金が無くても成り立つ設計にしておくのが安全である。

7.5 監視すべきリスク要因

1. 支給が審査で決まり、計画届の受理は支給を保証しない[7-1]。

2. 研修会社ページの助成金適用後の価格は、前提が会社ごとに違う。自社の条件で計算し直す。

3. 制度の期限（令和 9 年 3 月 31 日）と、その後の扱い。

4. 令和 8 年 8 月 3 日改正の経過措置は 8 月 2 日以前の契約・申込が対象で、8 月 3 日以降の新規契約には適用されない[7-2]。

7.6 要諦

1. 実施判断は〈三つの関門〉（対象・上限・期限）を通せるかで行う。

2. 業務直結・10 時間以上・開始日が 2027 年 2 月 15 日以前なら、助成金前提の Go が取れる。

3. 汎用的な入門研修や 10 時間未満の研修は、助成金前提では No-Go で、全額自己負担で判断する。

4. 初動は 2026 年 10〜12 月の 3 か月で、10 月に対象と会社、11 月に会社とカリキュラム、12 月に計画届である。

参考文献

[0-1] 令和 8 年度版 事業展開等リスキリング支援コースのご案内（令和 8 年 8 月 3 日版） - 厚生労働省 (2026-08) https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001731978.pdf

[0-2] 事業展開等リスキリング支援コース改正：令和 8 年 8 月 3 日からの変更点について（LL080803 開企 01） - 厚生労働省 (2026-08) https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001731966.pdf

[0-3] 雇用保険法施行規則 附則第 34 条・第 35 条（e-Gov 法令検索・2026 年 9 月 25 日取得） - デジタル庁 e-Gov 法令検索 (N/A) https://laws.e-gov.go.jp/law/350M50002000003

[0-4] 令和 9 年度予算概算要求の概要（令和 9 年度 厚生労働省予算概算要求の姿・2026 年 9 月 30 日アクセス） - 厚生労働省 (N/A) https://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/27syokan/dl/01-01.pdf

[0-5] .Pro AI BUSINESS 法人向け生成 AI 研修 料金（2026 年 9 月 30 日取得） - 株式会社.Pro (2026-09-30) https://dotpro.net/ai-learning/

[0-6] 2 日 Camp Claude Code 編 法人貸切プラン プレスリリース（2026 年 9 月 30 日取得） - ホリエモン AI 学校株式会社（PR TIMES） (2026-09-30) https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000142.000142396.html

[1-1] 企業向け AI 研修（初学者向けコース）料金（2026 年 9 月 30 日取得） - 一般社団法人日本 AI 導入支援協会 (2026-09-30) https://j-aix.or.jp/training/ai-beginner/

[1-2] AI 研修 CIRAS 研修一覧・料金（2026 年 9 月 30 日取得） - AI 研修 CIRAS (2026-09-30) https://www.ciras.jp/training

[1-3] 生成 AI 研修（訪問型）料金（2026 年 9 月 30 日取得） - クラウドワークス アカデミー (2026-09-30) https://academy.crowdworks.jp/biz/ai-training

[1-4] .Pro AI BUSINESS 法人向け生成 AI 研修 料金（2026 年 9 月 30 日取得） - 株式会社.Pro (2026-09-30) https://dotpro.net/ai-learning/

[1-5] 法人向け生成 AI 研修（標準プラン）料金（2026 年 9 月 30 日取得） - 株式会社 Uravation (2026-09-30) https://uravation.com/ai-training/

[1-6] Claude Code 法人研修 料金（2026 年 9 月 30 日取得） - 株式会社 Uravation (2026-09-30) https://uravation.com/claude-code-corporate/

[1-7] 法人向け AI 研修 料金（2026 年 9 月 30 日取得） - 株式会社ネクストスケール (2026-09-30) https://nextscale.co.jp/price/

[1-8] SHIFT AI リスキリングコース 料金（2026 年 9 月 30 日取得） - 株式会社 SHIFT AI (2026-09-30) https://shift-ai.co.jp/corp/tob-lp01/

[1-9] AI 鬼管理 料金（2026 年 9 月 30 日取得） - 株式会社 GENAI (2026-09-30) https://genai-ai.co.jp/ai-kanri/pricing/

[1-10] AI Academy Business 料金（2026 年 9 月 30 日取得） - AI Academy Business (2026-09-30) https://aiacademy.jp/

[1-11] ユースフルビジネス 集合研修・e ラーニング料金（2026 年 9 月 30 日取得） - 株式会社ユースフル (2026-09-30) https://business.youseful.jp/

[1-12] 生成 AI 業務プロセス適用研修 料金（2026 年 9 月 30 日取得） - 株式会社 AVILEN (2026-09-30) https://avilen.co.jp/org/learning/gai-training/

[1-13] Udemy Business Pricing（米国ページ・2026 年 9 月 30 日取得） - Udemy Business (2026-09-30) https://business.udemy.com/pricing/

[1-14] AI 道場 よくある質問・講師派遣料（2026 年 9 月 30 日取得） - スキルアップ AI (2026-09-30) https://www.skillupai.com/private-training/skillupai-dojo/

[1-15] 2 日 Camp Claude Code 編 法人貸切プラン プレスリリース（2026 年 9 月 30 日取得） - ホリエモン AI 学校株式会社（PR TIMES） (2026-09-30) https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000142.000142396.html

[1-16] 実践型研修（AI 活用）料金（2026 年 9 月 30 日取得） - GiftX (2026-09-30) https://ai.giftx.co.jp/

[1-17] 生成 AI 研修の公開講座・会員価格（2026 年 9 月 30 日取得） - 株式会社インソース (2026-09-30) https://www.insource.co.jp/bup/middle_ai.html

[1-18] 法人向け研修（研修本体の料金は非掲載・2026 年 9 月 30 日取得） - スキルアップ AI (2026-09-30) https://www.skillupai.com/private-training/

[1-19] ウズカレ Biz AI 人材育成コース（料金は資料請求先・2026 年 9 月 30 日取得） - ウズカレ Biz (2026-09-30) https://uzuz-college.jp/biz-ai/

[1-20] DMM 生成 AI CAMP 法人向け（円表記なし・2026 年 9 月 30 日取得） - DMM 生成 AI CAMP (2026-09-30) https://genai.dmm.com/business/

[1-21] キカガク 法人向け研修（円表記なし・2026 年 9 月 30 日取得） - キカガク (2026-09-30) https://www.kikagaku.co.jp/business/training

[1-22] トレノケート（研修料金の記載なし・2026 年 9 月 30 日取得） - トレノケート (2026-09-30) https://www.trainocate.co.jp/

[1-23] アドカル（トップに料金なし・2026 年 9 月 30 日取得） - アドカル (2026-09-30) https://www.adcal-inc.com/

[1-24] WEEL 研修サービス（料金の記載なし・2026 年 9 月 30 日取得） - WEEL (2026-09-30) https://weel.co.jp/services/training

[1-25] ブレインパッド（研修料金の記載なし・2026 年 9 月 30 日取得） - ブレインパッド (2026-09-30) https://www.brainpad.co.jp/

[1-26] アガルート（研修料金の記載なし・2026 年 9 月 30 日取得） - アガルート (2026-09-30) https://www.agaroot.jp/

[1-27] Algox 研修 LP（研修料金の記載なし・2026 年 9 月 30 日取得） - Algox (2026-09-30) https://algox.co.jp/kenshu-lp

[1-28] ビルド AI（研修料金の記載なし・2026 年 9 月 30 日取得） - ビルド AI (2026-09-30) https://build-ai.jp/

[1-29] Schoo for Business 料金ページ（JS 描画で本文に料金が出ない・2026 年 9 月 30 日取得） - Schoo for Business (2026-09-30) https://schoo.jp/biz/price

[1-30] Aidemy Business（JS 描画で本文が取得できない・2026 年 9 月 30 日取得） - Aidemy Business (2026-09-30) https://business.aidemy.net/

[1-31] SIGNATE Cloud（JS 描画で本文が取得できない・2026 年 9 月 30 日取得） - SIGNATE Cloud (2026-09-30) https://cloud.signate.jp/

[1-32] Web Camp Business（curl で接続できず・2026 年 9 月 30 日取得試行） - Web Camp Business (2026-09-30) https://business.web-camp.io/

[1-33] TechAcademy 法人研修（記載の料金は UI/UX デザイン研修・Web デザイン研修のもの・2026 年 9 月 30 日取得） - TechAcademy (2026-09-30) https://techacademy.jp/biz/training/course/generative-ai-series

[2-1] 人材開発支援助成金（厚生労働省 入口ページ） - 厚生労働省 (N/A) https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html

[2-2] 令和 8 年度版 事業展開等リスキリング支援コースのご案内（令和 8 年 8 月 3 日版） - 厚生労働省 (2026-08) https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001731978.pdf

[2-3] 人材開発支援助成金（事業展開等リスキリング支援コース）支給要領（令和 8 年 8 月 3 日版） - 厚生労働省 (2026-08) https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001731981.pdf

[2-4] 令和 8 年度版 人材育成支援コースのご案内（令和 8 年 8 月 3 日版） - 厚生労働省 (2026-08) https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001731967.pdf

[2-5] 令和 8 年度版 人への投資促進コースのご案内（令和 8 年 8 月 3 日版） - 厚生労働省 (2026-08) https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001731974.pdf

[2-6] 人材開発支援助成金（コース共通）改正：令和 8 年 4 月 8 日からの変更点について（LL080408 開企 04） - 厚生労働省 (2026-04) https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001687558.pdf

[2-7] 雇用保険法施行規則 附則第 34 条・第 35 条（e-Gov 法令検索・2026 年 9 月 25 日取得） - デジタル庁 e-Gov 法令検索 (N/A) https://laws.e-gov.go.jp/law/350M50002000003

[2-8] 人材開発支援助成金（人材育成支援コース）支給要領（令和 8 年 8 月 3 日版） - 厚生労働省 (2026-08) https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001731969.pdf

[2-9] 人材開発支援助成金（人への投資促進コース）支給要領（令和 8 年 8 月 3 日版） - 厚生労働省 (2026-08) https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001731976.pdf

[3-1] 令和 8 年度版 事業展開等リスキリング支援コースのご案内（令和 8 年 8 月 3 日版） - 厚生労働省 (2026-08) https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001731978.pdf

[3-2] 人材開発支援助成金（コース共通）改正：令和 8 年 4 月 8 日からの変更点について（LL080408 開企 04） - 厚生労働省 (2026-04) https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001687558.pdf

[3-3] 令和 8 年度版 人材育成支援コースのご案内（令和 8 年 8 月 3 日版） - 厚生労働省 (2026-08) https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001731967.pdf

[3-4] 企業向け AI 研修（初学者向けコース）料金（2026 年 9 月 30 日取得） - 一般社団法人日本 AI 導入支援協会 (2026-09-30) https://j-aix.or.jp/training/ai-beginner/

[3-5] AI 研修 CIRAS 研修一覧・料金（2026 年 9 月 30 日取得） - AI 研修 CIRAS (2026-09-30) https://www.ciras.jp/training

[3-6] .Pro AI BUSINESS 法人向け生成 AI 研修 料金（2026 年 9 月 30 日取得） - 株式会社.Pro (2026-09-30) https://dotpro.net/ai-learning/

[3-7] 法人向け生成 AI 研修（標準プラン）料金（2026 年 9 月 30 日取得） - 株式会社 Uravation (2026-09-30) https://uravation.com/ai-training/

[3-8] 2 日 Camp Claude Code 編 法人貸切プラン プレスリリース（2026 年 9 月 30 日取得） - ホリエモン AI 学校株式会社（PR TIMES） (2026-09-30) https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000142.000142396.html

[3-9] 生成 AI 業務プロセス適用研修 料金（2026 年 9 月 30 日取得） - 株式会社 AVILEN (2026-09-30) https://avilen.co.jp/org/learning/gai-training/

[3-10] 生成 AI 研修の公開講座・会員価格（2026 年 9 月 30 日取得） - 株式会社インソース (2026-09-30) https://www.insource.co.jp/bup/middle_ai.html

[3-11] AI 鬼管理 料金（2026 年 9 月 30 日取得） - 株式会社 GENAI (2026-09-30) https://genai-ai.co.jp/ai-kanri/pricing/

[4-1] 事業展開等リスキリング支援コース改正：令和 8 年 8 月 3 日からの変更点について（LL080803 開企 01） - 厚生労働省 (2026-08) https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001731966.pdf

[4-2] 人材開発支援助成金（事業展開等リスキリング支援コース）支給要領（令和 8 年 8 月 3 日版） - 厚生労働省 (2026-08) https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001731981.pdf

[4-3] 同 支給要領（令和 8 年 5 月 14 日版・改正前） - 厚生労働省 (2026-05) https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001728704.pdf

[4-4] 人材開発支援助成金（人材育成支援コース）支給要領（令和 8 年 8 月 3 日版） - 厚生労働省 (2026-08) https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001731969.pdf

[4-5] 人材開発支援助成金（人への投資促進コース）支給要領（令和 8 年 8 月 3 日版） - 厚生労働省 (2026-08) https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001731976.pdf

[4-6] .Pro AI BUSINESS 法人向け生成 AI 研修 料金（2026 年 9 月 30 日取得） - 株式会社.Pro (2026-09-30) https://dotpro.net/ai-learning/

[4-7] 令和 8 年度版 事業展開等リスキリング支援コースのご案内（令和 8 年 8 月 3 日版） - 厚生労働省 (2026-08) https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001731978.pdf

[5-1] 雇用保険法施行規則 附則第 34 条・第 35 条（e-Gov 法令検索・2026 年 9 月 25 日取得） - デジタル庁 e-Gov 法令検索 (N/A) https://laws.e-gov.go.jp/law/350M50002000003

[5-2] 令和 9 年度予算概算要求の概要（令和 9 年度 厚生労働省予算概算要求の姿・2026 年 9 月 30 日アクセス） - 厚生労働省 (N/A) https://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/27syokan/dl/01-01.pdf

[5-3] 令和 8 年度版 事業展開等リスキリング支援コースのご案内（令和 8 年 8 月 3 日版） - 厚生労働省 (2026-08) https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001731978.pdf

[5-4] 人材開発支援助成金（事業展開等リスキリング支援コース）支給要領（令和 8 年 8 月 3 日版） - 厚生労働省 (2026-08) https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001731981.pdf

[6-1] 令和 8 年度版 事業展開等リスキリング支援コースのご案内（令和 8 年 8 月 3 日版） - 厚生労働省 (2026-08) https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001731978.pdf

[6-2] 人材開発支援助成金（コース共通）改正：令和 8 年 4 月 8 日からの変更点について（LL080408 開企 04） - 厚生労働省 (2026-04) https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001687558.pdf

[6-3] 令和 8 年度版 人材育成支援コースのご案内（令和 8 年 8 月 3 日版） - 厚生労働省 (2026-08) https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001731967.pdf

[6-4] 生成 AI 研修の公開講座・会員価格（2026 年 9 月 30 日取得） - 株式会社インソース (2026-09-30) https://www.insource.co.jp/bup/middle_ai.html

[6-5] 生成 AI 業務プロセス適用研修 料金（2026 年 9 月 30 日取得） - 株式会社 AVILEN (2026-09-30) https://avilen.co.jp/org/learning/gai-training/

[6-6] AI Academy Business 料金（2026 年 9 月 30 日取得） - AI Academy Business (2026-09-30) https://aiacademy.jp/

[6-7] ユースフルビジネス 集合研修・e ラーニング料金（2026 年 9 月 30 日取得） - 株式会社ユースフル (2026-09-30) https://business.youseful.jp/

[6-8] Udemy Business Pricing（米国ページ・2026 年 9 月 30 日取得） - Udemy Business (2026-09-30) https://business.udemy.com/pricing/

[6-9] 2 日 Camp Claude Code 編 法人貸切プラン プレスリリース（2026 年 9 月 30 日取得） - ホリエモン AI 学校株式会社（PR TIMES） (2026-09-30) https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000142.000142396.html

[6-10] .Pro AI BUSINESS 法人向け生成 AI 研修 料金（2026 年 9 月 30 日取得） - 株式会社.Pro (2026-09-30) https://dotpro.net/ai-learning/

[6-11] AI 研修 CIRAS 研修一覧・料金（2026 年 9 月 30 日取得） - AI 研修 CIRAS (2026-09-30) https://www.ciras.jp/training

[6-12] 法人向け生成 AI 研修（標準プラン）料金（2026 年 9 月 30 日取得） - 株式会社 Uravation (2026-09-30) https://uravation.com/ai-training/

[6-13] AI 鬼管理 料金（2026 年 9 月 30 日取得） - 株式会社 GENAI (2026-09-30) https://genai-ai.co.jp/ai-kanri/pricing/

[6-14] 事業展開等リスキリング支援コース改正：令和 8 年 8 月 3 日からの変更点について（LL080803 開企 01） - 厚生労働省 (2026-08) https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001731966.pdf

[6-15] 人材開発支援助成金（事業展開等リスキリング支援コース）支給要領（令和 8 年 8 月 3 日版） - 厚生労働省 (2026-08) https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001731981.pdf

[7-1] 令和 8 年度版 事業展開等リスキリング支援コースのご案内（令和 8 年 8 月 3 日版） - 厚生労働省 (2026-08) https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001731978.pdf

[7-2] 事業展開等リスキリング支援コース改正：令和 8 年 8 月 3 日からの変更点について（LL080803 開企 01） - 厚生労働省 (2026-08) https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001731966.pdf

[7-3] 雇用保険法施行規則 附則第 34 条・第 35 条（e-Gov 法令検索・2026 年 9 月 25 日取得） - デジタル庁 e-Gov 法令検索 (N/A) https://laws.e-gov.go.jp/law/350M50002000003

[7-4] 令和 9 年度予算概算要求の概要（令和 9 年度 厚生労働省予算概算要求の姿・2026 年 9 月 30 日アクセス） - 厚生労働省 (N/A) https://www.mhlw.go.jp/wp/yosan/yosan/27syokan/dl/01-01.pdf

[7-5] 人材開発支援助成金（コース共通）改正：令和 8 年 4 月 8 日からの変更点について（LL080408 開企 04） - 厚生労働省 (2026-04) https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001687558.pdf

[7-6] .Pro AI BUSINESS 法人向け生成 AI 研修 料金（2026 年 9 月 30 日取得） - 株式会社.Pro (2026-09-30) https://dotpro.net/ai-learning/

[7-7] 人材開発支援助成金（事業展開等リスキリング支援コース）支給要領（令和 8 年 8 月 3 日版） - 厚生労働省 (2026-08) https://www.mhlw.go.jp/content/11800000/001731981.pdf